

H28. 7. 26キッズランドやちよ保護者懇談会記録

「公私連携による両キッズランドの運営(民営化)について」

平成28年7月26日(火) 19:00～19:55
キッズランドやちよ遊戯室

出席者：保護者 4名、町議1名
事務局：岸原教育長、こども未来課 今中、市位

内容：教育長あいさつ
こども未来課から資料 Q&A による説明
意見交換会

■主な意見と内容

- ・これまで人事異動があったのか。民営化になれば、職員は固定されるのか、それとも異動はあるか。
 - 公立園のなかで、かみとやちよは年に1回、数名の職員を異動している。民営化になり、かみとやちよを同じ法人が受けることになれば異動はあるかもしれないが、別々の法人が受けることになれば、まず異動はない。しかし、もし中区のこども園が受けることになれば、こども園同士での異動はあるかもしれない。
- ・手を上げる法人はあるのか。調整はされているのか。
 - 現時点で、どこも調整はしていないし、手を上げていただく法人があるかどうか分からない。できるだけ町内の法人に受けていただきたいと考えている。
- ・キッズの正職員は夢をもって就職し、プライドをもって仕事をされているのに、民営化についてどういう思いを持たれているか。正職員が数年後にはすべて抜けてしまうようだが、保育の質は下がらないか。
 - 夢と希望をもって就職され、誇りをもって仕事をしていただいているので、今は複雑な思いであると思う。現状の正職員の率は3割だが、民間の認定こども園になれば正職員の率は6～7割くらいまで上がると予想され、今以上に誇りとやりがいをもって仕事をいただけたらと考えている。キッズランドの正職員の抜けたあとは民間法人の保育教諭が採用されるので、保育の質は下がることはない。
- ・公立の職員をずっとこども園に派遣することは無理なのか。
 - 町職員という立場で、町が給与を負担して、こども園にずっと職員を派遣することは無理だと考えている。数年後には民間法人の園長が就任されることになる。
- ・子どもたちがたくさん通ってこそ運営が成り立つと思う。中区のこども園では、新規児童の獲得について営業努力のようなことをされているのか。
 - 中区内ではほとんどの児童が自分のエリアのこども園に通うという状況であるが、なかには保護者の希望で他地域のこども園に通われるケースもある。各園ではオープン保育園などを通じて広く未就園児の保護者の皆さんに園へ来てもらう取組をされている。
- ・今年の4月当初、通園バスのダイヤが変わり、到着時刻がかなり早まるがあった。できるだけ予定時刻どおりの運行でお願いしたい。以前通っていた加古川市の園ではバスの通過時刻をメールで配信するサービスがあったが、検討してもらえないか。
 - 4月当初、ご迷惑をおかけしたことは申し訳ない。できるだけ予定どおりの時刻で運行できるように努める。通過時刻のメール配信は、今後の検討事項とさせていただきたい。

・幼稚園の一時預かりで、午後1時30分から2時間程度預かってほしいと思ったが、お昼寝用ふとんの持ち込みが必要と言われた。バス通園であり、ふとんの持ち込みができないので、もっと柔軟な対応をしてほしかった。

→まず、所長に事実確認をさせていただく。一時預かりを気軽にご利用いただけるように、今後、柔軟な対応を考えさせていただきたい。

(教委事務局から)

・公立と民間の運営について、公立でないとダメなのか、民間のほうがいいのか、皆さんはどのようにお考えか。

→自宅から近いところで、地元の園に入園させたいと思う。公立、民間には特にこだわらないが、いずれにしても町がしっかり監督してほしい。

→民営化に賛成である。今まで以上に充実した教育・保育に期待したい。家内が中区の保育園に通っていたので、家内は民間園について評価している。

→5歳児なのでもう卒園だが、今まで公立園でお世話になって本当に良かった。民営化されるのは、良いと思う。民営化になり、いろんなことが充実して、うらやましいと思う。5歳児のカリキュラムも考えられているし、期待している。

→本日は、現在の保護者として、また未来の保護者の皆さんのためにも、間違った選択をしないように懇談会に参加した。民営化になって、受けた運営法人が利益ばかりを追求すると保育の質が下がりそうな気がするし、子どもたちにしっかり教育・保育をしてもらえるのかという不安は多少ある。

→中区内の認定こども園には5年前から年2回の園訪問をさせていただいているが、どの園も教育・保育にしっかり取り組んでいただいております、何の心配もないと思う。これまで以上に園との関わりを強くし、公私連携で運営をしていきたい。